

# 生徒会重点活動

## 1. あいさつ

### (1) 目標

- ① 誰に対しても、元気なあいさつや返事・会釈ができるようにしよう。
- ② 学校全体の雰囲気が明るくなるようなあいさつが飛び交う学校にしよう。
- ③ 地域の方々にも積極的にあいさつができるようになろう。

### (2) 活動内容

#### ① あいさつ運動

<ねらい>

- ・人と人の心を結ぶ明るいあいさつができる高中生を目指すため。

<活動方法>

- ・毎週月曜日に執行部とボランティアチームで、7：50から昇降口などに立ってあいさつをする。
- ・「あいさつの合言葉」や節ごとの「あいさつ目標」を掲示して、あいさつへの意識を高める。

あいさつの合言葉

「あいてのめをみて・いつでも・さわやかに・つねにじぶんから」あいさつをしよう！

あいさつ目標

- 1 節：明るいあいさつと会釈をしよう
- 2 節：常に自分からあいさつをしよう
- 3 節：相手の目を見てあいさつをしよう
- 4 節：誰にでもさわやかなあいさつと会釈をしよう
- 5 節：あいさつマスターになろう

## 2. 絆

### (1) 目標

- ① 仲間の良いところや相手への感謝の気持ちなどを積極的に伝え合い、一人ひとりの想いを大切にできる高中生になろう。
- ② 互いに支え合い、協力し合うことで、絆を深めよう。
- ③ 悪口陰口をなくし、生徒一人一人が安心して楽しく学校生活を送ることができるようにしよう。

### (2) 活動内容

#### ① 絆プロジェクト

<ねらい>

- ・相手の気持ちを考えて、その場にあった行動や発言のできる高中生を目指すため。
- ・悪口陰口がなくなり、誰もが安心して楽しく生活できる学校にするため。

- ・仲間の良いところや相手への感謝の気持ちなどを積極的に伝え合い、思いやりの心があふれる学校にするため。

#### <活動方法>

- ・「思いやり宣言」を1階廊下に掲示し、いつでも意識して行動できるようにする。
- ・学期に1回、振り返る機会を設定する。振り返りの内容をまとめて、生徒朝会で報告し、思いやりの意識を高める。
- ・行事などが終わった節目（5月：学年行事、9月：合唱祭、10月：運動会、2月：1年間を振り返って）に、ハート型の用紙に、仲間の良いところや相手への感謝の気持ちを書いて、思いやり宣言の周りに掲示する。
- ・いつでもハートを貼れるように用紙を置いておき、ハートがたくさんあふれた思いやり宣言にする。

「思いやり宣言」

## 和喜相愛（わきあいあい）

- ・和…みんなと協力しよう。
- ・喜…楽しく学校生活を送ろう。
- ・相…相手の気持ちを考えて行動しよう。
- ・愛…仲間の良いところや感謝を伝えよう。

### ② Unity Time

#### <ねらい>

- ・仲間のよいところなどをもっと知り、お互いに尊重し合えるようにするため。

#### <活動方法>

- ・水曜日の朝活動の時間に、Unity Timeを設定する。
- ・学級の班を基本として、5～10分程度、様々なお題の活動をする。
- ・学期に1回は、全校生での活動を取り入れる。

## 3. ボランティア

### (1) 目標

- ① 積極的にボランティア活動に参加する高中生になろう。
- ② ボランティア活動を通して、自分にできることを進んで実行できる高中生になろう。
- ③ 地域との絆を大切にしよう。

### (2) 活動内容

#### ① アルミ缶回収

##### <ねらい>

- ・アルミ缶を回収し、リサイクル業者に買い取ってもらい、その収益でリハビリセンターに必要なものを贈るため。

##### <活動方法>

- ・昇降口にアルミ缶回収BOXを設置し、常時持つてくることができるようにする。
- ・毎月第1火・水・木の朝を重点回収日とし、昇降口周辺の一か所で回収を行う。回収量は昼の放送な

どで報告する。

- ・授業参観や壮行式などで保護者が来校するときにも、協力を呼び掛ける。また、アルミ缶だけでなく、アルミ製品の回収も呼びかける。
- ・ポイントカードを作り、5ポイントたまったら生徒会から表彰をする。

## ② ボランティアチームの結成

<ねらい>

- ・地域の美化活動など自分たちにできることを行い、貢献していくため。
- ・ボランティア活動を通して高中の生徒会活動を盛り上げるため。

<活動方法>

- ・高瀬と楯山のコミュニティセンターと連携して、どのような活動ができるか確認する。(昨年は文化祭準備、階段清掃、雪かきボランティアを行いました。)
- ・定休日もしくは、学級活動優先日を利用し、放課後に活動を行う。
- ・あいさつ運動や生徒会活動のサポートとして参加してもらう。

※その他、様々な福祉活動や、災害時支援に役立てられる各種募金活動にも積極的に参加していく。

## 4. 凡事徹底

### (1) 目標

- ① メディア (パソコン、スマートフォン、タブレット、ゲーム機などの電子機器) のよりよい使い方ができるようにしよう。
  - ・悪口等の書き込みなどで傷つく人がいなくなるようにしよう。
  - ・外部からの危険を防ごう。
  - ・十分な睡眠時間を確保して、毎日元気に登校し、活動に集中して取り組もう。
- ② 当たり前前のことを当たり前前のように行えるようにしよう。

### (2) 活動内容

#### ① メディア使用ルール

<ねらい>

- ・メディアのよりよい使い方について考え、思いやりの気持ちを持って使用できるようにするため。

<活動方法>

- ・「高楯中メディア使用ルール」を確認し、守れるように呼びかけをしていく。
- ・生徒朝会や定期テスト時のメディアコントロールなど、振り返る機会を設定する。

#### 【高楯中メディア使用ルール】

- ・勉強中に LINE やゲームをしない。
- ・メディア使用時間は2時間以内。
- ・休日は3.5時間以内。
- ・就寝時間1時間前は使用しない。(テスト前は9時以降使用しない)
- ・SNSを使用するときは、相手が嫌がるような言葉や投稿はせず、思いやりの気持ちをもって使用する。
- ・各家庭でもメディア使用時の約束を設定していく。

## ② 本気チャレンジ「マジチャレ」

<ねらい>

- ・本気になって取り組む活動を通して、自分のクラスや学年をさらに磨くため。

<活動方法>

- ・学期に1回実施する。(2・3学期は各学年生徒会で項目を設定する。)
- ・3日間、本気で取り組む活動をクラスごとに、★5つを目指して活動に取り組む。

例) 2分前学習を本気で取り組む。

→評議員や学芸委員、サポーターを中心に呼びかけを行い、2分前学習を徹底する。

## 5. その他の活動

### (1) 青少年赤十字 (JRC)

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために貢献し、世界の人びとの友好親善の精神を育成することを目的として、様々な学校教育の中で展開しています。青少年赤十字では、先に述べた目的を達成するために、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げています。また、主体性を育むために「気づき」「考え」「実行する」という態度目標を掲げています。

<令和6年度の高橋中学校での実践>

赤い羽根共同募金、7月25日大雨災害義援金、3.11いのちの灯、アルミ缶回収活動

### (2) SDGs

SDGsとは、持続可能な世界を実現するために、2030年までに達成すべき国際社会全体の目標です。「地球上の誰一人として取り残さない」を理念に、行動変革につなげるため一人ひとりが持続可能な社会づくりに必要な知識とスキルを得ることが掲げられています。

※SDGsはSustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称です。

